

「エンジニアリング・デザイン教育」ワークショップ

社会に必要なハードウェアやソフトウェアを科学と技術を駆使してデザインするエンジニアリング・デザイン教育は、エンジニアリング教育の根幹をなすものであり、特に日本のような資源小国にとっては極めて重要なものです。

JABEE が 2005 年にワシントン協定に加盟した際、ワシントン協定加盟団体による審査チームから「日本の技術者教育におけるエンジニアリング・デザイン教育の弱点」が指摘されました。6 年ごとに実施されるワシントン協定の継続審査では、前回の審査での指摘事項が重点的に審査されます。このため、JABEE および関連学協会ではこれまでに、国際シンポジウムやワークショップなどを開催し、また、審査に関する JABEE の基本方針等を公表してきました。更なるエンジニアリング・デザイン教育の促進のため 5 月 22 日(日)、ワークショップを開催します。今回はオーストラリア技術士会の Robert King 教授をお招きし、また、デザイン教育が伝統的に良くなされている分野とあまり注目されていなかった分野におけるデザイン教育例を発表していただき、デザイン教育の問題点とその改善に関して討議します。午後はグループに分かれて、日本にはまだなじみの浅い「エンジニアリング・デザイン教育」の問題点とその改善に関して討議します。

- **主催:** 日本技術者教育認定機構 (JABEE)
- **日時:** 平成 23 年 5 月 22 日(日) 9:30~17:30
- **会場:** 中央大学後楽園キャンパス 3 号館 3 階 3300 号室

【プログラム】

9:30-9:40	開会挨拶	木村 孟 (JABEE 会長)
9:40-11:10	基調講演 「エンジニアリング・デザイン教育のワシントン協定における位置づけと国際的動向」	Prof. Robin King (オーストラリア技術士会、シドニー協定副議長)
11:20-11:50	「JABEE の基本方針とエンジニアリング・デザイン教育方法の提案」	大中 逸雄 (JABEE 副会長・認定事業委員長)
11:50-12:10	事例 1 (東京工業大学 土木・環境工学科)	福田大輔 准教授
12:10-12:30	事例 2 (宮崎大学 応用生物科学科)	酒井正博 教授
12:30-14:00	昼食 (各自)	
14:00-16:30	グループ討議 (8 グループを予定) ● 日本のエンジニアリング・デザイン教育の問題点と改善策 (卒業研究、アウトカムズ、教育方法、評価方法など)	
16:40-17:30	● グループ発表と総合討議 ● 自己点検書記載の注意	
17:30	閉会挨拶	

- **参加対象者:** ①プログラム受審校関係者、②認定プログラム関係者、③将来認定希望のプログラム関係者、④審査員 (経験者および予定者)、⑤その他
- **参加費:** 無料
- **交通費:** 自己負担
- **参加申込:** メールにて info@jabee.org へ氏名、教育機関名、電話番号、E-mail アドレス、および参加対象者の区分を明記の上お申し込みください。
- **申込締切:** 2011 年 4 月 30 日 (土) (定員 (90 名) になり次第締切ります)